

# 埼臨技だより

発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7 TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095

URL:<http://www.sairingi.com/> 携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter: @sairingi

## 平成26年賀詞交歓会・ 各賞受賞者記念祝賀会盛大に開催される

平成26年1月10日(金)に「ラフレさいたま」桃の間において平成26年賀詞交歓会及び各賞受賞記念祝賀会が開催され、今年は来賓、会員、賛助会員合わせて221名の方々に参加をいただき盛大に開催することができました。

会は砂川会長の新年の挨拶に始まり、当会が1月6日より公益社団法人としてスタートしたことが報告されました。つづきまして、当会名誉会員の小崎繁昭様の挨拶の後、賛助会員を代表しましてアボットジャパン(株)和田理弘様より祝辞をいただきました。つづいて来賓の方々の紹介が行われ、当会元監事の原 繁一様のご発声で乾杯を行い、楽しく、賑やかな歓談のひとときを過ごしました。しばらく歓談の後、岡田総務部長より埼臨技ロゴマーク最優秀賞の発表、第42回埼玉県医学検査学会の坂場学会長より学会成功のお礼と第43回埼玉県医学検査学会の袴田学会長より開催の案内と協力要請がありました。



その後、各賞受賞者の紹介と花束贈呈、つづいて当会前会長の五内川里子様より受賞者への祝辞があり、受賞者の方々から謝辞をいただきました。今回も多くの方が受賞され来賓の方々を交えての記念撮影も華やかなものとなりました。楽しく賑やかな会も終焉が近づき、祝賀会らしく「一本締め」で今年の会もお開きとなりました。ご出席いただいた会員、賛助会員の皆様ありがとうございました。午年のこの一年が、皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げます。

(文責：長澤英一郎)

○埼玉県公衆衛生事業功労賞

|         |                |
|---------|----------------|
| 奈良 豊 氏  | 埼玉医科大学総合医療センター |
| 鳥山 満 氏  | 獨協医科大学越谷病院     |
| 羽鳥 浩司 氏 | 埼玉社会保険病院       |
| 小松 正人 氏 | さいたま赤十字病院      |

○福見秀雄賞

○日臨技有功賞 功労賞

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 小崎 繁昭 氏 | 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会名誉会員 |
|---------|-----------------------|

○日臨技有功賞 会長賞

|         |           |
|---------|-----------|
| 坂場 幸治 氏 | 防衛医科大学校病院 |
|---------|-----------|

○埼臨技功労者表彰

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 前原 光江 氏 | 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 |
|---------|-------------------|

○埼臨技会誌 優秀論文賞

|         |                |
|---------|----------------|
| 鯨井 智子 氏 | 浦和医師会メディカルセンター |
|---------|----------------|

○藤田光一郎賞

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 櫻林 郁之介 氏 | 自治医科大学／医療法人一成会 さいたま記念病院 |
|----------|-------------------------|



## 第43回 埼玉県医学検査学会のご案内

実行委員長 飯田真佐栄

来たる12月21日（日曜日）大宮ソニックシティにおいて「第43回埼玉県医学検査学会」が開催されます。暮れも押し迫った忙しい時期に、参加される方々には大変申し訳ございません。

我々は、昨年10月より第1回実行委員会を立ち上げ、現在は特別講演・公開講演などの企画についてアイデアを絞っているところでありますが、昨年の第42回学会では演題数・参加者数ともに過去最高を記録しており、実行委員一同大きなプレッシャーを感じております。そのような中で、今回のメンバーには初めて実行委員を経験する方が多くおりますが、逆に新しい発想や個人個人の優れた才能に助けられているところです。

今回は、公益法人となって第1回目の学会となりますので、一般市民を対象とした公開講演もいつもと違うものやりたいと考えていますが・・・（もうしばらくお楽しみに）

学会テーマは『つ・な・が・る』 ～職種の壁を越えて～ と致しました。医療の現場では一人の患者様のためにいろいろな職種の人が関わっています。検査でもいろんな分野の人が関わります。施設を超えた検査技師同士の横のつながりなど、いろいろなつながりがありますが、まずは実行委員と皆様の施設とつながりたいと思いますので、演題の登録をよろしく願いいたします。



2月中には学会ホームページをアップさせ、4月より演題募集を開始する予定です。ぜひ多くの演題を登録していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

## 埼玉県臨床検査技師会ロゴマーク決定のお知らせ

埼臨技ロゴマークを募集しましたところ、たくさんのご応募がありましたこと心より感謝申し上げます。

どの作品も当技師会をイメージし優れたものばかりでした。第42回埼玉県医学検査学会ではロゴマーク候補の会員投票をおこない、広く会員のみなさまにもご協力をいただき、選考委員会で厳正な審査を行った結果、以下の作品が選考されましたのでご報告いたします。

最優秀賞 駒井 瞭（グラフィックデザイナー）

優 秀 賞 下田 達夫（川口工業病院）

小林麻里子（北埼玉医師会立メディカルセンター）

今後、最優秀作品は埼臨技会旗、印刷物、出版物等に広く活用していきます。最優秀賞作品は埼臨技HP（<http://www.sairingi.com/rogo.html>）でご覧下さい。

（文責：岡田茂治）

## 各研究班の研修会報告を致します。

### テーマ 血尿診断ガイドライン2013

～7年ぶりの改訂版！血尿患者を扱うすべての検査技師にも活用していただきたい～

主催 一般検査研究班

実施日時：平成25年11月22日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科ー20点

講師：水野 雅仁（シスメックス株式会社 学術一課二係）

岡田 浩一（埼玉医科大学医学部 腎臓内科／総合診療内科 教授）

協賛：シスメックス株式会社

参加人数：会員84名 賛助会員2名

出席した研究班班員：川音勝江 室谷明子 山浦久 深田茂則 竹山梨枝子 土屋貴絵

研修内容・感想など

今年の5月に血尿診断ガイドラインが7年ぶりに改訂された。改訂に携わられた岡田先生をお招きし、慢性腎不全（CKD）と血尿の関係やIgA腎症、健診でのチャンス血尿の取り扱いについてなど臨床データなどを交えてご講演いただいた。

CKDと血尿の関係については、尿検査において血尿単独の場合では、将来CKDへと進展するリスクは男女ともに低い。しかし、血尿と合わせて尿中蛋白量が増加すると腎不全のリスクが高まるという事だった。血尿と一言で言っても、糸球体性の血尿や尿路結石、尿路上皮癌による非糸球体性の血尿など様々な疾患が考えられる。そのため、尿沈渣検査法2010に沿った赤血球形態などの尿沈渣情報を正確に臨床側に届けなければならない。また、外陰部からのコンタミネーションによる赤血球の混入を避けるためにも、正しい採尿法の指導なども大切だと感じた。

（文責：竹山梨枝子）

### テーマ インフルエンザ

ー医療従事者に必要な予防対策とアウトブレイク対応ー

主催 公衆衛生検査・生理検査研究班

実施日時：平成25年11月29日 19時30分～20時30分

会場：大宮法科大学院大学 点数：専門教科ー20点

講師：熊坂 一成（上尾中央総合病院 臨床検査科長 感染制御室室長）

参加人数：会員35名 非会員1名

出席した研究班班員：

公衆衛生検査：菊地孝司 長崎広美 榊原外江 立塚梓 穴原賢治

生理検査：野本隆之 宮原広 高梨淳子 横尾愛 仲野浩 瀧沢義教 関口知詠子

田名見理恵

研修内容・感想など

今回の研修会は生理検査研究班と合同で開催した。内容はインフルエンザに関するもので、講師は熊坂一成先生を迎え講演をしていただいた。

講演中に参加者とのコミュニケーションとして、○×△●の用紙を使いながらの問題形式による説明や、マスクの付け方や手洗いの実演指導もあり、医療現場ではとても有用な内容であった。

インフルエンザについては基本的なところからワクチンの有効性についての説明があり、更に年代別の公衆衛生的な統計の内容も説明された。指定届出医療機関の協力によりインフルエンザの流行状況をいち早く掴む様子も紹介していただいた。

インフルエンザのHAについての説明は詳細なところまで教えて下さり、一部のマスコミ等による報道の仕方についても現場の立場で意見を述べられ分かりやすい説明だった。

2009年に、ご自身の勤務されている病院で発生したアウトブレイクについても紹介していただき、当時の対応について医療現場ではどのような対応が望ましいかを説明され、とても興味深い講演であった。また、感染症について昔の様子や今の状況を、絵や画像で紹介していただき、1時間での講義は短いものと感じた内容だった。今後、インフルエンザが流行すると思われる中、医療人として適切な対応を取ることで感染拡大を防止し、いかに業務を行っていくかを改めて考えさせられ、本研修会の内容を現場で是非活用していきたいと思った。

(文責：穴原賢治)

## テーマ **自己血輸血とテルモ自己血関連商品 適正使用のためのポイント** **血管新生療法（細胞治療）・造血幹細胞移植**

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成25年12月20日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 点数：基礎教科ー20点

講師：由布 竜二（テルモ株式会社 ホスピタルカンパニー）

岸野 光司（自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部）

参加人数：会員49名 賛助会員1名

出席した研究班班員：渡邊一儀 宮川勇 佐藤祥子 洞庭敬子 神戸考裕 今井厚子 武関雄二

研修内容・感想など

今回は、自己血輸血関連と血管新生療法（細胞治療）・造血幹細胞移植をテーマに研修会を開催した。まず、由布氏からは自己血輸血と自己血関連商品、および適正使用のポイントについて講演していただいた。自己血輸血に伴う器材と使用方法を図・写真を用いて詳細に説明され大変参考になった。また、採血時の主なトラブルとして採血過多、混和不足についての説明と原因となる疾患や患者状態が招く事例についても紹介があった。今回の講演の内容を活用して、より安全な自己血輸血の構築や適正な自己血の管理が望まれる。

次に、岸野技師からは血管新生療法（細胞治療）・造血幹細胞移植について講演していただいた。血管新生療法は閉塞性動脈硬化症（ASO）、閉塞性血栓性血管炎（Buerger病）の適応基準と血管新生の機序、細胞移植の方法や効果、今後の課題についての説明があった。造血幹細胞移植は、原理や種類の解説があり、自家・同種造血幹細胞移植、末梢血・骨髄移植・臍帯血移植の詳細な比較が提示され、細胞処理の方法やABO血液型の変化の症例を説明していただいた。最後に院内における血液細胞処理のための指針の紹介と造血幹細胞を成功に導くためには「患者の強い意思と医師を中心とした各種の医療スタッフの連携」が重要であると教えていただき、大変印象深い有意義な内容であった。

(文責：武関雄二)

**平成25年度**  
**公益社団法人埼玉県臨床検査技師会**  
**第1回 理事会議事録**

日 時：平成26年1月9日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席者：砂川、津田、神山、前原、矢作、岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、島村、松岡、小島、濱本、藤井、長澤、小関、茂木、小山、山口、野瀬、遠藤

**Ⅰ. 行動報告**(平成25年12月10日～平成26年1月8日)

12月10日(火)第9回理事会：

砂川、津田、神山、前原、矢作、岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、松岡、小島、濱本、藤井、長澤、小関、小山、遠藤、細谷

12月17日(火)第43回埼玉県医学検査学会実行委員会：岡田、小島、長岡

12月19日(木)事業部部会：

津田、濱本、藤井、長澤

12月25日(水)第2回事務局会議：

砂川、神山、前原、矢作

12月27日(金)事業部小部会：藤井、長澤

1月6日(月)さいたま地方法務局にて公益法人登記申請：

砂川、津田、神山、矢作、島村

1月7日(火)賀詞交歓会準備：長澤

**Ⅱ. 報告事項**

**1 事務局**

1)平成26年1月6日、さいたま地方法務局へ公益法人登記申請を行った。

2)埼玉県糖尿病協会から全国糖尿病週間行事後援の御礼状をいただいた。

3)日臨技より「本邦において広く共有できる基準範囲の設定」が英文雑誌に掲載されたと報告があった。

**2 総務部**

1)「埼臨技だより」第416号1月15日発行予定

**3 事業部**

1)法人移行・60周年記念祝賀会準備の進捗状況について

**4 学術部**

1)第42回埼玉県医学検査学会優秀発表賞について

2)学術部主催地区別研修会開催予定(臨時プログラム発行予定1月15日)

東部地区：2月4日(火)19時～  
獨協医科大学越谷病院

西部地区：2月12日(水)19時～  
埼玉医科大学 かわごえクリニック

北部地区：3月4日(火)19時～  
深谷赤十字病院

3)平成25年度日臨技甲状腺超音波検査技師養成講座(講習会第2回)開催について

**5 精度保証部**

**6 会計部**

1)平成25年度会費8名40,000円、入会金9名4,500円、合計44,500円の入金があった。

2)生涯教育助成金200,000円(9月21日、10月11日、10月25日、10月27日分)の入金があった。

3)埼臨技会誌Vol.60-No.3印刷代392,000円、だより第414号印刷代120,050円、埼臨技会誌(学会特集号)発送費用291,890円、合計803,940円を石井印刷に支払った。

**7 精度管理委員会**

**8 関甲信支部**

**9 第42回埼玉県医学検査学会**

**10 第43回埼玉県医学検査学会**

1)12月17日、第3回実行委員会を開催した。

**Ⅲ. 承認事項**

**1 事務局**

1)会員動向(会費納入済)(平成25年度分)  
会員数 2,334名

(新入会員195名[平成24年度会員数2,256名])  
賛助会員 72社[平成24年度 69社]

平成25年1月6日現在

2)平成25年度臨時会員総会議案について

3)平成26年日臨技賀詞交歓会への出席について

砂川会長、津田副会長、神山副会長の3名が出席することとなった。

日 時：平成26年1月24日(金)

18時30分～20時30分

会 場：LANDMARK SQUARE  
30階 LOTUS

4)埼臨技事務所水道工事について

**2 総務部**

- 3 事業部
- 4 学術部
- 5 精度保証部
- 6 会計部

**IV. 議事の経過の概要およびその結果**

定款24条の規定により、会長 砂川進氏が議長となった。

**事務局**

1. 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会役員体制について  
砂川会長より標記の議案について、現状の役員体制のまま運営したいと発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。
2. 臨時理事会開催について  
前原常務理事より標記の議案について、平成25年度社団法人埼玉県臨床検査技師会決算承認を行うため臨時理事会を開催したいと発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で1月27日に開催することを承認した。
3. 理事会開催日の変更について  
前原常務理事より標記の議案について、3月開催の理事会開催日と埼玉県医師会精度管理講習会が重なるため、理事会開催日を変更したいと発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で3月14日に開催することを承認した。
4. 「小島三郎記念技術賞」及び「福見秀雄賞」

の推薦について

砂川会長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、今回は該当者無しとすることを出席理事全会一致で承認した。

5. 埼玉県からのH I V即日検査事業の受託について

砂川会長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、受託内容の確認も含め、神山副会長に一任することを出席理事全会一致で承認した。

6. 埼臨技事務所改築について

砂川会長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、津田副会長、神山副会長、島村会計部長を中心に委員会を立ち上げることを出席理事全会一致で承認した。

7. 臨時総会、法人移行記念式典及び創設60周年記念祝賀会日程及び会場について

砂川会長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、3月21日（金）ラフレさいたまで開催することを出席理事全会一致で決定した。また、式次第については事業部および三役に一任することとした。

- 総務部
- 事業部
- 学術部
- 精度保証部
- 会計部



**平成25年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
臨時理事会議事録**

**日時**：平成26年1月27日(月) 19時00分より

**場所**：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

**議題**：I. 議題

**出席者**：砂川、津田、神山、前原、矢作、岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、島村、松岡、小島、濱本、藤井、長澤、小関、小山、山口、遠藤、細谷

**I. 議事の経過の概要およびその結果**

定款24条の規定により、会長 砂川進氏が議長となった。

**事務局**

1. 社団法人埼玉県臨床検査技師会平成25年度収支決算報告について

島村会計部長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

2. 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会平成25年度予算案について

島村会計部長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

## 求人案内

○一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター  
採用条件：臨時職員  
連絡先：048-824-1629 内線310 徳大路

○株式会社ピーシーエルジャパン 病理・細胞診センター  
採用条件：正職員、臨時職員  
連絡先：049-234-7310  
総務部 採用担当 古田島

○医療法人 三慶会 指扇病院  
採用条件：正職員、臨時職員  
連絡先：048-623-1103 総務課 関根

○医療法人財団 献心会 川越胃腸病院  
採用条件：臨時職員  
連絡先：049-225-6888 経営管理室 三宅

○医療法人社団 和風会 所沢中央病院  
採用条件：正職員、臨時職員  
連絡先：04-2994-1265 総務部 事務長 服部 貢

○医療法人 康麗会 越谷誠和病院  
採用条件：正職員  
連絡先：048-966-2711 総務課 高野

○国立障害者リハビリテーションセンター病院  
採用条件：臨時職員  
連絡先：04-2995-3100 内線3160  
医事管理課管理係 松村

○医療法人社団 協友会 東大宮総合病院  
採用条件：正職員  
連絡先：048-681-0366 人事課 採用担当

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

## あ と が き

埼臨技が公益社団法人としてスタートしました。これからの臨床検査技師にどんな道筋を描き、どうしたら社会的知名度と誇りを持ってもらえるようになるか、若手の将来を見据えて何ができるかなど考えていかなければならないと改めて感じています。今後も「埼臨技だより」は会員の情報紙としての役割と会員相互のコミュニケーションとしての役割を充実させ、情報発信ツールとして見やすい紙面構成にも心がけてまいります。これからもどうぞ公益社団法人としての埼臨技だよりをご愛読いただければと思います。

(岡田 記)

